

〔臨床検査科〕

研修の特徴と内容

【特徴】

臨床検査が診断や治療に必要不可欠なものであることは国も明言しており、その正しい理解はすべての臨床医にとって必須である。当施設は日本臨床検査医学会認定研修施設であり（日本臨床検査医学会は専門医制度の基本領域学会の1つです）、臨床検査のベーシックを学ぶことが出来るのみならず、専門医研修の一部をカバーしているため検査専門医を目指す研修医にとってはスムーズに研修プログラムに移行できるという特徴を有する。

【内容】

① 一般目標（G I O）

臨床検査（血液や尿などを対象とする検体検査と心電図などの人体・生理機能検査）に関する基本的な知識と技能を修得し、臨床検査が安全かつ適切に実施できるよう管理し、医療上有用な検査所見を医師、患者に提供できる医師になること。

② 行動目標（S B O）

臨床検査医学は非常に幅広い学問領域と関連している。本プログラムでは、どの臨床領域においても必要となる臨床検査の基礎を理解し、基本的な手技をマスターする。また、検査結果の適切な解釈の基本を学ぶ。

③ 研修内容（L S）

1. 尿定性試験、尿沈渣検体の作成とその判定が出来る
2. 血液像標本作成、Wright-Giemsa 染色が出来る
3. 血液・骨髄標本の検鏡が出来る
4. 各種検体の保存方法を理解できる
5. スパイログラムの実施、評価ができる
6. 心電図（12誘導）の実施、診断ができる
7. 負荷心電図の実施、判定、緊急時の対応が出来る
8. 動脈血ガス分析、実施・評価が出来る
9. 微生物塗抹標本作成およびグラム染色が出来る
10. 適切な培地の選択が出来る
11. 人間ドックの検査結果を適切に判断し説明することが出来る

④ 教育に関する行事

臨床検査部内カンファレンス、英文抄読会、遺伝カウンセリング、RCPC (Reversed Clinico-Pathological Conference) など

⑤ 研修評価（E V）

研修終了時、研修指導医が達成度を評価する。

指導医等

主任教授：小柴 賢洋 准教授：宮崎 彩子 講師：正木 充

研修実施責任者

准教授：宮崎 彩子